

中期計画の変更（案）について

公立大学法人横浜市立大学中期計画（第2期）

現 行	変 更 後（案）
<p>公立大学法人横浜市立大学中期計画（第2期） （平成23年4月1日～平成29年3月31日） （全文）－省略－</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組</p> <p>I-1 教育に関する取組</p> <p>＜教育ポリシー＞ ー省略ー</p> <p>1 全学的な取組 ー省略ー</p> <p>2 学部教育に関する取組 ー省略ー</p> <p>3 大学院教育に関する取組</p> <p>＜大学院共通＞</p> <p>（1）生命医科学分野の再編</p> <p>生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした<u>再編を実施する</u>。再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。</p> <p>＜都市社会文化・<u>生命ナノシステム科学</u>・<u>国際マネジメント研究科</u>＞</p> <p>（1）コースが再編された学部・大学院の一貫性ある教育内容の実施</p> <p><u>都市系・理系・マネジメント系</u>に再編した大学院と、コースを再編する国際総合科学部の教育を連結させた学部・大学院一貫の教育体制について検討を行う。</p> <p>（2）都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実 【地域貢献】【国際化】</p> <p>都市社会文化研究科においては、都市問題に実践的に取り組んでいける人材の育成を目指す。</p> <p><u>生命ナノシステム科学研究科</u>においては、<u>木原生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大学院において創出する高い科学・技術を活用し、ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を目指す。</u></p>	<p>公立大学法人横浜市立大学中期計画（第2期） （平成23年4月1日～平成29年3月31日） （全文）－省略ー</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組</p> <p>I-1 教育に関する取組</p> <p>＜教育ポリシー＞ ー省略ー</p> <p>1 全学的な取組 ー省略ー</p> <p>2 学部教育に関する取組 ー省略ー</p> <p>3 大学院教育に関する取組</p> <p>＜大学院共通＞</p> <p>（1）生命医科学分野の再編</p> <p>生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。</p> <p>＜都市社会文化・<u>国際マネジメント</u>・<u>生命ナノシステム科学</u>・<u>生命医科学研究科</u>＞</p> <p>（1）コースが再編された学部・大学院の一貫性ある教育内容の実施</p> <p><u>都市系・マネジメント系・理系</u>に再編した大学院と、コースを再編する国際総合科学部の教育を連結させた学部・大学院一貫の教育体制について検討を行う。</p> <p>（2）都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実 【地域貢献】【国際化】</p> <p>都市社会文化研究科においては、都市問題に実践的に取り組んでいける人材の育成を目指す。</p> <p><u>国際マネジメント研究科</u>においては、<u>海外、特にアジアに進出する企業の海外展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。</u></p> <p><u>生命ナノシステム科学研究科</u>においては、<u>木原生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大</u></p>

現 行	変 更 後 (案)
<p><u>国際マネジメント研究科においては、海外、特にアジアに進出する企業の海外展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。</u></p> <p>以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、研究科の改善・充実を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>< 5月8日法人評価委員会時の案 > 生命医科学研究科においては、<u>原子・分子レベルにおける定量的な知識、及び技術を基盤とし、医科学への応用展開力を身につけた人材の育成を目指す。</u></p> </div> <p>—中略—</p> <p>I－2 研究の推進に関する取組</p> <p>1 研究水準及び研究の成果等に関する取組 —省略—</p> <p>2 研究実施体制等の整備に関する取組 —省略—</p> <p>(1) 将来の医療に貢献する先端医科学研究センターの施設建設を含む研究推進体制の整備 —省略—</p> <p>(2) 生命医科学分野の再編 (再掲)</p> <p>生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした<u>再編を実施する。</u>再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。</p> <p>—中略—</p> <p>Ⅲ 法人の経営に関する目標を達成するための取組</p> <p>Ⅲ－1 業務運営の改善に関する取組</p> <p>1 ガバナンス及びコンプライアンスの強化など運営の改善に関する取組 —省略—</p> <p>2 人材育成・人事制度に関する取組 —省略—</p> <p>3 大学の発展に向けた整備等に関する取組</p>	<p><u>学院において創出する高い科学・技術を活用し、ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を目指す。</u></p> <p>以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、研究科の改善・充実を図る。</p> <p><u>(3) 理学と医学を融合した基礎研究から応用研究までの幅広い知識と視野を有する人材の育成と世界的レベルの研究拠点の形成【地域貢献】</u></p> <p><u>生命医科学研究科においては、タンパク質等の構造を研究する構造生物学を基盤とし、医科学への応用展開力を身につけた人材の育成を目指す。</u></p> <p>—中略—</p> <p>I－2 研究の推進に関する取組</p> <p>1 研究水準及び研究の成果等に関する取組 —省略—</p> <p>2 研究実施体制等の整備に関する取組 —省略—</p> <p>(1) 将来の医療に貢献する先端医科学研究センターの施設建設を含む研究推進体制の整備 —省略—</p> <p>(2) 生命医科学分野の再編 (再掲)</p> <p>生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。</p> <p>—中略—</p> <p>Ⅲ 法人の経営に関する目標を達成するための取組</p> <p>Ⅲ－1 業務運営の改善に関する取組</p> <p>1 ガバナンス及びコンプライアンスの強化など運営の改善に関する取組 —省略—</p> <p>2 人材育成・人事制度に関する取組 —省略—</p> <p>3 大学の発展に向けた整備等に関する取組</p>

現 行		変 更 後 (案)	
<p>(1) 施設整備と環境改善 ー省略ー</p> <p>(2) 大学間連携の構築に向けた検討</p> <p>①ダブルディグリーや共同学部の設置等、他大学との連携の可能性について検討委員会等を設置し、検討を進める。</p> <p>②生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編を実施する。再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。(再掲)</p> <p>ー以下本文省略ー</p> <p>【別表1】地域貢献に関する目標を達成するための取組</p> <p>ー前文省略ー</p>		<p>(1) 施設整備と環境改善 ー省略ー</p> <p>(2) 大学間連携の構築に向けた検討</p> <p>①ダブルディグリーや共同学部の設置等、他大学との連携の可能性について検討委員会等を設置し、検討を進める。</p> <p>②生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。(再掲)</p> <p>ー以下本文省略ー</p> <p>【別表1】地域貢献に関する目標を達成するための取組</p> <p>ー前文省略ー</p>	
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組 I-1 教育に関する取組</p>		<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組 I-1 教育に関する取組</p>	
1	<p>1 全学的な取組</p> <p>(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実【地域貢献】【国際化】</p>	1	<p>1 全学的な取組</p> <p>(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実【地域貢献】【国際化】</p>
2	<p>2 学部教育に関する取組</p> <p>医学部(医学科・看護学科)</p> <p>(1) 新教室の設置および教室再編など学部教育の改善・充実【地域貢献】</p>	2	<p>2 学部教育に関する取組</p> <p>医学部(医学科・看護学科)</p> <p>(1) 新教室の設置および教室再編など学部教育の改善・充実【地域貢献】</p>
3	<p>(2) 医師不足診療科などを考慮した教育の充実【地域貢献】</p>	3	<p>(2) 医師不足診療科などを考慮した教育の充実【地域貢献】</p>
4	<p>3 大学院教育に関する取組</p> <p>都市社会文化・<u>生命ナノシステム科学・国際マネジメント研究科</u></p> <p>(2) 都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実【地域貢献】【国際化】</p>	4	<p>3 大学院教育に関する取組</p> <p>都市社会文化・<u>国際マネジメント・生命ナノシステム科学・生命医科学研究科</u></p> <p>(2) 都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実【地域貢献】【国際化】</p> <p>都市社会文化研究科においては、都市問題に実践的に取り組んでいける人材の育成を目指す。 <u>生命ナノシステム科学研究科においては、木原生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大学院において創出する高い科学・</u></p> <p>都市社会文化研究科においては、都市問題に実践的に取り組んでいける人材の育成を目指す。 <u>国際マネジメント研究科においては、海外、特にアジアに展開する企業の課題展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。</u> <u>生命ナノシステム科学研究科において</u></p>

現 行				変 更 後 (案)																			
			<p>技術を活用し、ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を目指す。</p> <p><u>国際マネジメント</u> 研究科においては、<u>海外、特にアジアに展開する企業の課題展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。</u></p> <p>以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、研究科の改善・充実を図る。</p>				<p>は、木原生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大学院において創出する高い科学・技術を活用し、<u>ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を目指す。</u></p> <p>以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、研究科の改善・充実を図る。</p>																
				5	<p><u>(3) 理学と医学を融合した基礎研究から応用研究までの幅広い知識と視野を有する人材の育成と世界的レベルの研究拠点の形成【地域貢献】</u></p>		<p><u>生命医科学研究科</u>においては、<u>タンパク質等の構造を研究する構造生物学を基盤とし、医科学への応用展開力を身につけた人材の育成を目指す。</u></p>																
<p>【別表2】国際化に関する目標を達成するための取組</p> <p>—前文省略—</p> <p>国際化に向けたミッションステートメントの4つの柱に沿った計画</p> <p>1 教育の国際化</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組 I-1 教育に関する取組</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>1 全学的な取組</td> <td>(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【<u>地域貢献</u>】 【<u>国際化</u>】</td> <td>—省略—</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2 学部教育に関する</td> <td>(1) 国際社会で活躍でき</td> <td>—省略—</td> </tr> </table>				1	1 全学的な取組	(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【 <u>地域貢献</u> 】 【 <u>国際化</u> 】	—省略—	2	2 学部教育に関する	(1) 国際社会で活躍でき	—省略—	<p>※以下項番5から15を、6から16に繰り下げる</p> <p>【別表2】国際化に関する目標を達成するための取組</p> <p>—前文省略—</p> <p>国際化に向けたミッションステートメントの4つの柱に沿った計画</p> <p>1 教育の国際化</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組 I-1 教育に関する取組</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>1 全学的な取組</td> <td>(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【<u>地域貢献</u>】 【<u>国際化</u>】</td> <td>—省略—</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2 学部教育に関する</td> <td>(1) 国際社会で活躍でき</td> <td>—省略—</td> </tr> </table>				1	1 全学的な取組	(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【 <u>地域貢献</u> 】 【 <u>国際化</u> 】	—省略—	2	2 学部教育に関する	(1) 国際社会で活躍でき	—省略—
1	1 全学的な取組	(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【 <u>地域貢献</u> 】 【 <u>国際化</u> 】	—省略—																				
2	2 学部教育に関する	(1) 国際社会で活躍でき	—省略—																				
1	1 全学的な取組	(2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜市内をはじめとする教育研究機関との連携等) 【 <u>地域貢献</u> 】 【 <u>国際化</u> 】	—省略—																				
2	2 学部教育に関する	(1) 国際社会で活躍でき	—省略—																				

現 行				変 更 後 (案)			
	取組 共通教養	る人材の育成 を目指した共 通教養 教育の 改善・充実【国 際化】			取組 共通教養	る人材の育成 を目指した共 通教養 教育の 改善・充実【国 際化】	
3		(3) 国際的に 活躍できる人 材育成に向け た教育の国際 化推進 【国際 化】	—省略—	3		(3) 国際的に 活躍できる人 材育成に向け た教育の国際 化推進 【国際 化】	—省略—
4	都市社会文 化・ <u>生命ナ ノシステム 科学・国際 マネジメント 研究科</u>	(2) 都市の 課題解決への 対応等を視点 にしたカリキ ュラムの改 善・充実 【地 域貢献】【国際 化】	都市社会文化研究 科においては、都市 問題に実践的に取組 んでいける人材の育 成を目指す。 <u>生命ナノシステム 科学研究科</u> において は、木原生物学研究 所等有する貴重な 資源や、理化学研究 所をはじめとする他 の教育研究機関との 連携大学院において 創出する高い科学・ 技術を活用し、ライ フサイエンスの進展 に寄与する人材の育 成を目指す。 <u>国際マネジメント 研究科</u> においては、 海外、特にアジアに 展開する企業の課題 展開を戦略的に支援 できる人材の育成を 目指す。 以上の目標に向けた 教育研究を実施する 中で、教員・学生の 評価等をもとに、カ リキュラムの継続的 な見直しや適正な入 学定員の検討を実施 し、研究科の改善・ 充実を図る。	4	都市社会文 化・ <u>国際マ ネジメント ・生命ナノ システム科 学・生命医 科学研究科</u>	(2) 都市の 課題解決への 対応等を視点 にしたカリキ ュラムの改 善・充実 【地 域貢献】【国際 化】	都市社会文化研究 科においては、都市 問題に実践的に取組 んでいける人材の育 成を目指す。 <u>国際マネジメント 研究科</u> においては、 海外、特にアジアに 展開する企業の課題 展開を戦略的に支援 できる人材の育成を 目指す。 <u>生命ナノシステム 科学研究科</u> において は、木原生物学研究 所等有する貴重な 資源や、理化学研究 所をはじめとする他 の教育研究機関との 連携大学院において 創出する高い科学・ 技術を活用し、ライ フサイエンスの進展 に寄与する人材の育 成を目指す。 以上の目標に向けた 教育研究を実施する 中で、教員・学生の 評価等をもとに、カ リキュラムの継続的 な見直しや適正な入 学定員の検討を実施 し、研究科の改善・ 充実を図る。
—以下省略—				—以下省略—			